

「柁」はねじり合わせた麻の繊維を巻き取る「工」の字の形の工具です。  
 なぜ、このようなものが納められているのでしょうか。  
 このような金銅製の紡織具は伊勢神宮にもあり、古代の天



「柁」たたり。繊維を細かく裂いて糸状にするときに使用します



「柁」かせ。ねじり合わせた繊維を巻き取るときに使用します。「工」の字の形をしています

神島八代神社神宝の謎③  
 神島と伊勢神宮は  
 赤い糸で結ばれている!?

八代神社の神宝の中には、金銅製の柁(たたり)と柁(かせ)と呼ばれるものがあります。これは、ともに紡織具の一種で、「柁」は麻の繊維を細かく裂いて糸状にする工具、「柁」はねじり合わせた麻の繊維を巻き取る「工」の字の形の工具です。

皇が即位直後に行う祭りの際に、奉納していたとされています。それは、伊勢神宮に祭られているアマテラス女神が、機織りの神様だからです。また、伊勢神宮には神衣を奉る「神衣祭(かんみそさい)」と呼ばれる祭りがあります。この祭りに奉納される糸は、三河の「赤引糸(あかひきのいと)」と呼ばれるものです。

つまり、この「赤引糸」を三河から伊勢に運ぶ場合、最短距離は伊勢湾を横切ることであり、難所とされていた伊良湖水道を安全に航海できるように神島に奉納されたのではないかと考えられています。  
 このような金銅製紡織具は、以前このコラムでも紹介したように、世界遺産候補になった沖ノ島(福岡県)の祭祀遺物と酷似することが指摘されており、日本でも神島と沖ノ島周辺でしか確認されていない大変貴重な資料です。  
 神島は、小説「潮騒」の舞台というだけでなく、古代には「聖なる島」として天皇家ともつながりがあったたであろう「古代ロマン溢れる島」であるということをもっと対外的にPRする必要があると思います。

鳥羽のお宝  
 再発見!



vol.13

教育委員会生涯学習課  
 ☎ 1268

みんな子育て



子育て広場  
 だっこでほっと

この夏には!!

vol.10

子育て支援センター  
 ☎・FAX 7221

この時期になると、お母さんたちの間で「おむつ外し」の話がよく出ます。早く外したいという思いは、母親の共通の願いですね。  
 先日の「だっこ」での様子です。最近「おしっこ」と知らせるようになったNちゃん。いつものようにお母さんとトイレに向かいます。すると、「ちょっと待ってー。わたしもNちゃんがどうやってするのか見せてー」と一人で行こうとするM君のお母さん。：ちよつとちよつとお母さん! Mくんを忘れたらいかんよ。連れて行って、見せてあげてね。そして、「おしっこ」の言葉を小耳にはさんだKくん。「Kもおしっこが出るー」と前を押さえて走り出します。「こんなこと初めて!」と追いかけるお母さん。  
 その様子を見ていたYちゃんも「うんち」とお母さんに知らせます。替えの紙おむつを片手に慌ててトイレに直行。こどもたち同士の刺激は、大変な力を持っているのですね。こどもたちだけではなく、お母さんたちも同じです。「だっこ」に來ると、わが子と真つすぐ向き合うゆとりができません。「赤、青、黄、緑のかわいいドア、今日はどのトイレに入るかな?」「ここでおむつ外しができそう」とお母さんたちの声。でも、個人差があるのです。こどもの様子をよく観察することが大事です。そして、おむつ外しを始める以前に、普段からこまめにおむつ交換を行い、気持ち良さや清潔感を体験させることが大切です。7月27日に「おむつ外し」講座を行います。くわしくは、広報7月16日号でお知らせします。